

チャリティトーク＆コンサートの収益金はペルーの働く子どもたちの奨学金として送られています。

ペルーには子ども人口の30%、約200万人以上の働く子どもがいます。ナソップ（MNNATSOP：ペルーの働く子ども・若者の全国運動）は、1996年3月に結成された働く子どもたちの全国ネット。全国で約1万3千人が参加しています。自ら考え行動する能力を持ち、支援される対象ではなく、大人とともに社会に参画する主体であるという考え方が運営にも生かされ、全国代表16名と大人の協力者6名は子どもたちの選挙で選びます。中南米・アフリカ・アジアの運動とも連携して、働く子どもの権利のための活動を積極的に進めています。児童労働廃絶への動きに對しては、飢える子、路上に戻る子、法の保護外に置かれる子どもたちの急増を懸念して反対の立場をとっています。永山則夫の印税約1千万円は、教育プロジェクトや活動資金、「ナソップの家」の取得などに、そしてチャリティコンサートの収益は奨学基金として活用しています。



## コンサート 私たちは幸せになるために生まれてきた

歌と演奏

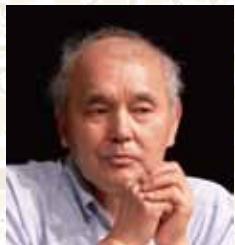
### 李 政美(イ・ジョンミ)

東京・葛飾生まれの在日韓国人2世。国立音楽大学在学中から朝鮮民謡、フォークソング、folkloreなどをうたいはじめ、ドラマ・映画の挿入歌等を手がける傍ら、さまざまなミュージシャンとの共演、ソロライブ活動を続ける。子育て・充電期間を経て、1994年に屋久島に住む詩人・山尾三省と出会い、彼の詩「祈り」に曲を付けうたったのをきっかけにオリジナル曲を作り始め、現在はオリジナル曲を中心にジャンルを超えた幅広いレパートリーで、ライブ、コンサートを展開。2003年には韓国・ソウルで初のソロコンサートを実現し、韓国の聴衆を魅了する。心にしみとあるその深く透明な歌声は、日本全国及び韓国の人強いファンに支えられている。

## 講演 非寛容な精神は社会をどこへ導くか ——排外主義が台頭する状況の中で

### 講師 太田昌国(おおた・まさくに)

編集者／民族問題・人権問題研究家。長年にわたり編集者として人文書の企画・編集に携わる傍ら、民族問題・南北問題などについての発言を続けている。最近は、帝国批判の立場から「日本問題」「米国問題」に関わる発言が多い。著書に『「拉致」異論』(河出文庫)『暴力批判論』(太田出版)『チ・ゲバラ プレイバック』(現代企画室)などがある。死刑廃止運動にも関わっている。



## 映画 ペルーの働く子どもたち物語 vol.V

### 制作 NPO クシ・パンク協会 (Asociacion Cussi Punku)

ペルーには、働くことを通して、家族の生活を共に支えている子どもたちが数多く存在します。私たちは、そんな働く子どもたちの発する声に耳を傾け、子どもたちを取り巻く状況を知り、彼らと議論をし、子どもたちの問題の解決に向けた行動を共に起こしていきたいと考えています。同時に、子どもたちの現状をホームページや映像を通して日本に伝えていく作業も続けていきたいと思います。（代表：義井豊）



西片町教会

東京メトロ 南北線「東大前」駅より徒歩3分  
東京メトロ 丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩15分  
都営地下鉄 三田線「白山」駅より徒歩15分

## 朗読 絵本「おせつかいなパチャママ」より

作・絵

### 井江春代(いえ・はるよ)



1923年鳥取生まれ。女子美術大学卒。児童出版の仕事に就く。第13回小学館絵画賞受賞。77年よりアンデスをテーマに個展。1986～91年パチャママシリーズ全6冊(フレーベル館)。2011年5月死去。

朗読

### 水野慶子(みずの・けいこ)



役者。1982年～93年、テント芝居「風の旅団」に参加。以後、「独火星」などに出演。金時鐘詩の朗読ライブ『ここより遠く よりこのここに近く』(2008年)『四月よ、遠い日よ』(2011年)に朗読で出演。「第9回永山子ども基金チャリティトーク＆コンサート」(2012年)より朗読で出演。

伴奏

### 笠久保 伸(ささくぼ・しん)



幼少のころより南米の音楽に興味を持ち演奏活動を始める。クラシックギターを学び、国内のギターコンクール受賞歴多数。2004年より単身ペルーへ渡り音楽研究および演奏活動をする。これまでにペルー、ボリビア、アルゼンチン、チリ、ギリシャ、ブルガリアにて演奏。多数の国際音楽祭に招待され演奏、音楽祭にてマスタークラスを開く。2008年には来日したペルー大統領への演奏も企画された(ペルー大使館主催)。ペルーではアンデスの村々を旅し伝承音楽を録音、採譜、それを基にこれまでに9枚のCDを発表している。ペルー伝承音楽の後継者として高く評価される一方、現代的な自作曲を発表し内外の演奏家、作曲家から支持を受けている。

(オモテ 画・井江春代「ボリビアの民話」)